



12月1日に岩木川改修100周年を記念してシンポジウムを開催しました。岩木川の改修に取り組んできた先人の弛まぬ努力に感謝するとともに治水対策の重要性を再認識しました。
また、夜間巡回指導では飲酒運転の根絶には本人はもちろん、周囲の協力が不可欠であると感じました。

12月1日 岩木川改修100周年 岩木川シンポジウム

岩木川の治水事業が12月1日をもって100周年の大きな節目を迎えたことを記念し、シンポジウムを開催しました。

「岩木川の歴史と改修の歩み」と題した基調講演やパネルディスカッションのほか、関係者が一堂に会し懇親を深めました。

津軽の母なる川である岩木川が、今後も私たちに安全安心と自然の恵みをもたらし、末永く愛されることを心から願っています。



12月21日 北方領土返還要求 青森県民大会

北方領土返還要求青森県民大会が当市で開催され、北方領土返還に向け参加者一同、決意を新たにしました。

当日は、元島民の方の講話や記念講演、北方領土写真パネル展、北方領土返還要求署名活動などが行われました。

本大会を契機として、北方領土返還に向けた取り組みが着実に前進し、大きな成果へつながることを、心から期待しています。



12月26日 交通安全の飲食店街 夜間巡回指導

飲酒運転の根絶とハンドルキーパー運動を推進するため、飲食店街の巡回指導を行いました。年末年始を控えたこの時期は飲酒の機会が多くなるとともに、積雪や凍結による事故の発生が懸念されます。

皆さん、安全運転を心がけ、飲酒運転は絶対にしないようお願いいたします。



第38回「田中稔賞」を秋田谷ファームが受賞



12月21日、第38回「田中稔賞」を受賞した秋田谷ファーム（相内）の秋田谷和智さん（代表取締役）と長一郎さん（取締役会長）が、市長に受賞報告を行いました。

田中稔賞は稲作農業の発展に顕著な業績をあげた個人および団体を表彰する賞で、当市で田中稔賞を受賞するのは平成4年度以来、26年ぶりの快挙となります。

秋田谷ファームでは長一郎さんと和智さんの親子2

代にわたる津軽半島北部地帯での水田経営の確立や主食用米と飼料用米、大豆の複合経営による経営リスク管理の実践が高く評価され、今回、受賞となりました。

秋田谷さんは「今回受賞できたのは、地域の皆さんのご指導やご協力があったこと。今後も作業効率の向上や水稲栽培技術の向上を行いながら規模拡大を図り、地域の稲作を守っていきたい」と受賞の喜びを話しました。



受賞を報告した秋田谷和智さん(左から2人目)と長一郎さん(右から2人目)